

平成22年度における契約状況のフォローアップ

平成23年8月
独立行政法人水資源機構

1. 平成20年度と平成22年度に締結した契約の状況

(単位：件、億円)

| | 平成20年度 | | 平成22年度 | | 比較増 減 | | 見直し計画 | |
|----------------|------------------|----------------|------------------|----------------|----------------|---------------|------------------|----------------|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 |
| 競争入札等 | (85.5%) 2,085 | (80.0%) 471 | (81.5%) 1,463 | (86.4%) 484 | (29.8%) 622 | (2.8%) 13 | (89.6%) 2,187 | (84.4%) 497 |
| 企画競争・公募 | (0.0%) 1 | (0.0%) 0 | (0.3%) 5 | (0.2%) 1 | (400.0%) 4 | (0.0%) 1 | (0.2%) 4 | (0.0%) 0 |
| 競争性のある契約(小計) | (85.5%) 2,086 | (80.0%) 471 | (81.8%) 1,468 | (86.6%) 485 | (29.6%) 618 | (3.0%) 14 | (89.8%) 2,191 | (84.4%) 497 |
| 競争性のない 随意契約 | (14.5%) 354 | (20.0%) 118 | (18.2%) 326 | (13.4%) 75 | (7.9%) 28 | (36.4%) 43 | (10.2%) 249 | (15.6%) 92 |
| 合 計 | (100%) 2,440 | (100%) 589 | (100%) 1,794 | (100%) 560 | (26.5%) 646 | (4.9%) 29 | (100%) 2,440 | (100%) 589 |

(注1) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

(注2) 比較増 減の()書きは、平成22年度の対20年度伸率である。

(注3) 見直し計画の計数等は、「独立行政法人の契約状況の点検・見直しについて(平成21年11月17日閣議決定)」に基づき公表した見直し計画である。

(参考) 図表 平成 20 年度と平成 22 年度に締結した契約の状況

【20 実績】

589 億円 2,440 件

| |
|--|
| 一般競争入札・指名競争入札等 471 億円 (2,085 件) |
| 競争性のある契約方式合計 金額 471 億円 (80.0%) 件数 2,086 件 (85.5%) |
| 企画競争・公募 0 億円 (1 件) |
| 競争性のない随意契約 金額 118 億円 (20.0%) 件数 354 件 (14.5%) |

契約全体に占める
「競争性のある契約方式」の割合の
実績比増 減

金額
+6.6 ポイント
(14 億円増)

件数
-3.7 ポイント
(618 件減)

【22 実績】

560 億円 1,794 件

| |
|--|
| 一般競争入札・指名競争入札等 484 億円 (1,463 件) |
| 競争性のある契約方式合計 金額 485 億円 (86.6%) 件数 1,468 件 (81.8%) |
| 企画競争・公募 1 億円 (5 件) |
| 競争性のない随意契約 金額 75 億円 (13.4%) 件数 326 件 (18.2%) |

【(参考) 見直し計画】

見直し結果後における状況

589 億円 2,440 件

| |
|--|
| 一般競争入札・指名競争入札等 497 億円 (2,187 件) |
| 競争性のある契約方式合計 金額 497 億円 (84.4%) 件数 2,191 件 (89.8%) |
| 企画競争・公募 0 億円 (4 件) |
| 競争性のない随意契約 金額 92 億円 (15.6%) 件数 249 件 (10.2%) |

(注) 「一般競争入札・指名競争入札等」には、不落・不調の随意契約を含む。

2. 見直し計画に掲げた競争性のない随意契約の割合に到達しなかった主な理由

随意契約見直し計画等により、真にやむを得ないもののみを随意契約としており、平成 20 年度実績に比べ随意契約の金額・件数ともに減少したところである。しかし、東日本大地震等緊急に対応するための随意契約が増加したことや、ダム事業の検証による総発注件数が減少した結果、相対的に割合としては増加した。

3. 平成 22 年度において、随意契約から一般競争入札等、企画競争、公募に移行した主な契約

一般競争入札へ移行

機器の賃貸借契約 0 . 0 億

指名競争入札へ移行

該当なし

企画競争へ移行

該当なし

公募へ移行

施設の管理に関する調整等業務 0 . 4 億

4. 一者応札・応募の改善状況

(単位：件、億円)

| | | 平成 20 年度 | 平成 22 年度 | 比較増 減 |
|-------|----|------------------|------------------|----------------|
| 2 者以上 | 件数 | 1,249 (64.3%) | 1,256 (90.2%) | 7 (0.6%) |
| | 金額 | 293 (67.8%) | 444 (94.1%) | 151 (51.5%) |
| 1 者以下 | 件数 | 692 (35.7%) | 137 (9.8%) | 555 (80.2%) |
| | 金額 | 139 (32.2%) | 28 (5.9%) | 111 (79.9%) |
| 合 計 | 件数 | 1,941 (100.0%) | 1,393 (100.0%) | 548 (100.0%) |
| | 金額 | 432 (100.0%) | 472 (100.0%) | 40 (100.0%) |

(注 1) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

(注 2) 合計欄は、競争契約（一般競争、指名競争、企画競争、公募）を行った係数である。

(注 3) 比較増 減の()書きは、平成 22 年度の対 20 年度伸率である。

5. 一者応札、一者応募に係る改善方策

(URL <http://www.water.go.jp/honsya/honsya/keiyaku/news/2009/0909171syaousatutaiou.html>)